

指導のねらい

推敲の観点に基づいて、推敲の仕方を身に付けることができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

A ① 一 主語に合わせて述語の部分を正しく書き直す。

正答率50.8%

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。

〔第2学年及び第3学年〕 言語事項(1)

オ 文の中の文の成分の順序や照応、文の組立てなどについて考えること。

授業アイデア例

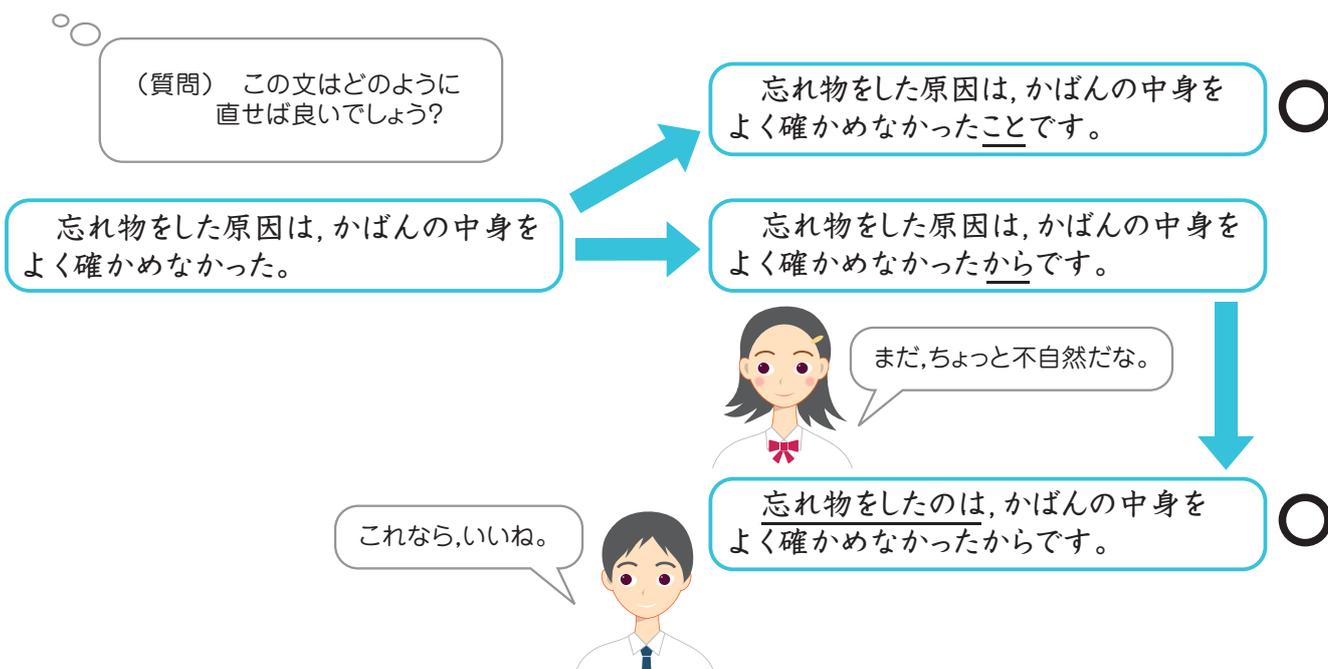
学習の流れ

1 推敲する際に注意する点を確認する。

文の組立てについて注意する場合

- 主語と述語との関係
- 文末表現(常体と敬体, 副詞の呼応など)
- 並立の言葉の使い方(「Aしたり, Bしたり」など)
- 一文の長さ(読点の付け方, 「の」の多用, 逆接表現の多用など)
- 修飾と被修飾との関係
- 助詞の使い方
- 同じ意味の言葉の重複
- など

2 具体的な文の中で、どのように直せばよいのかを考える。



留意点

- 推敲する学習場面では、文と文、段落と段落のつながりなど文章の組立てに目を向けさせることも効果的である。